

■ぬまづ近代史点描75 拓南訓練所

■27年度新収資料の紹介

■27年度当館収蔵資料の使用

二〇一六年四月

通巻125号

# 史料館通信

## 沼津市明治



### 富沢食堂パンフレット (当館所蔵)

富沢食堂は仲見世商店街の北端にありました。表面（上段）の案内地図に西武デパートが載っています。沼津に西武百貨店が地方1号店を出したのは、昭和32年（1957）6月ですからそれ以降に作られたパンフレットということになります。案内文から、当時沼津駅には特急電車が停車し、伊豆や箱根へのバスも数多く発着した、人気観光地への玄関口の役割を果たしていたことがうかがわれます。



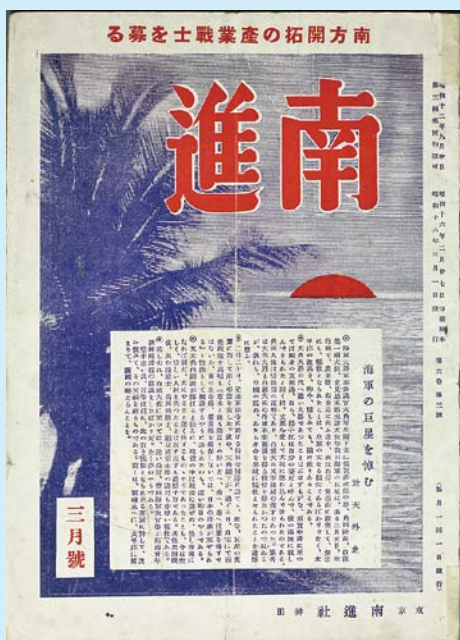
### 仲見世商店街入口 (当館所蔵)

昭和33年（1958）頃の仲見世商店街入口（北側）の写真です。駅前通りと上本通りの間に作られた商店街で、戦後のヤミ市として始まり昭和27年（1952）頃から「仲見世」と呼ばれるようになったそうです。

拓南訓練所（のち錬成所）は、拓南会の『拓開萬里波濤』（一九七五年）、『同書 第二集』（一九八八年）や当館企画展図録『昭和の戦争と沼津』（一九九五年）で紹介され、当館常設展沼津の歴史コーナーにおいても展示し、毎年実施している「戦争史跡めぐり」でも訪れているところであるが、最近、拓南訓練所の設立に関する資料を入手したのでここで紹介する。その資料とは昭和一六年（一九四一）三月一日に南進社が発行した雑誌『南進』第六卷三月号で、この号で拓南協会創立記念特集が組まれている。

日中戦争が長期化する中、南進論者と南方関係の企業とが提唱し、昭和一五年夏頃から動き始め、昭和一六年二月「拓南協会」が結成された。『南進』掲載の設立趣意を以下に引用する。

現下国策ノ最高目標が大東亜共栄圏確立ノ為メ、其ノ高度国防国家完成ニアルコトハ今



『南進』第6卷3月号表紙

更ラ贅言ヲ要セザル処ニシテ、而カモ其ノ一環トシテノ南方共栄権ノ確立ガ、国家内外ノ情勢ニ鑑ミ一層焦眉且ツ緊要ナルコトハ国民一般ノ常識ナリト信ズ。然ルニ此レ等諸地域ガ、従来白人ノ搾取暴圧政策ニ依リ、固ク其ノ門戸ヲ鎖シテ吾レヲ容レザルノ実状ニアルハ、我が国策遂行上ノ一大障碍タルニ止マラズ、実ニ正義人道上許スベカラザル所ナリ。

惟フニ、我が帝国ハ東亜民族ノ為メ此レ等ノ地方ヲ開放セシメ、以ッテ共存共栄ノ樂土ヲラシメザルベカラズ。而シテ此等南方地域ヲシテ真ニ共存共栄ノ樂土タラシムルノ方策ハ多クアリト雖モ、其ノ根本且ツ恒久ノ国策ガ、同地域ニ対スル大和民族ノ大量進出ニアルコトハ、何人ニモ異議ナカルベク、然カモ其ノ方途ガ従来ノ如キ個人的、分散的、自由主義的進出ニ放任スルコトナク、所謂八紘一字ノ大精神ニ則ル集团的、組織的、統制的進出タラシメザルベカラズ。

於是乎、吾レ等同志相謀カリ『拓南協会』ヲ設立シ、将来邦人ノ南方進出ノ飛躍的發展ニ備ヘ其ノ調査、教育、宣伝、政策ノ進言、更ラニ起業ノ助成並ニ南方移植民事業ノ奨励助成ヲ計ルハ勿論、進ンデハ輿論ヲ喚起シ、斯ノ目的達成ノタメニ諸般ノ事業ヲ遂行セント欲ス。

即チ『拓南青年訓練』ノ如キモ叙上ノ目的ニ添ハントスルニシテ、将来南方開拓ニ対スル真ニ指導的優秀ナル人材ヲ養成セントス

ルモノナリ。

希クハ江湖同憂ノ諸賢、本会ノ趣意ニ御賛同、御後援アラムコトヲ。

昭和十六年二月紀元ノ佳節

役員顔ぶれとして、顧問に陸軍大将小磯國昭、副会長に南洋興発株式会社取締役会長松江春次、前文部政務次官、前海軍副參政官田中善立、理事に海軍少将松本忠左、大日本国民中学会々長河野正義、海軍少将植松練磨、日本特殊纖維株式会社社長・前拓務参与官佐藤正、南進社々長前代議士山田毅一、内原訓練所補導として下山野泰弘の名が挙がっている。

下山野泰弘は、明治三十三年（一九〇〇）鹿児島生まれ。茨城県内原（現水戸市）の満蒙開拓義勇軍幹部養成所の指導者であった人物で、南方開拓指導者養成と南方民族友好平和を主旨として拓南協会設立、拓南愛鷹青年訓練所の設置に奔走した、拓南訓練所の生みの親である。

そして、拓南協会の第一期事業として、将来南方において活躍すべき人材の養成のため「拓南青年訓練所」を設置する。内地訓練所として「拓南青年愛鷹訓練所」が金岡村愛鷹山組合所有地（現沼津市足高）に、現地訓練所として「南洋パラオ訓練所」という名称で、パラオ本島、南洋庁熱帯産業研究所内に置かれることになっていた。内地訓練所の規模は、土地一二町歩一畝五分（約一二ヘクタール）、訓練生宿舍（一棟二五人収容）四棟、講堂、教室、武道場、本部事務所、炊事場、浴場、倉庫、畜舎、職員宿舍



等一八棟を建設し、その他に野外教練場、農場（実習場）を配置する計画であった。

掲載されている訓練生募集要綱は以下のとおり。

◇訓練所の目的 拓南青年幹部及び一般南方拓土の中堅指導者の養成を目的とす

◇募集人員 一百名

◇応募資格 中等学校卒業程度の学歴を有する者にして、年齢二十五歳未満の男子

◇応募手続 入所志望者は自筆の願書に写真を添付し、所属学校長の手を経て提出すべし。書式は郵便切手三銭封入申込み次第郵送す

◇応募期日 願書提出締切りは三月二十日（郵送は同日の郵便局消印あるもの）とす

◇願書提出先 東京市渋谷区代々木駅前新参道・大日本国民中学会館内・拓南協会東京事務所

◇入所者詮衡 詮衡を行ふべき者に対しては、その日時及び場所を予め通知す。詮衡は筆答及び口答試問による人物考査並びに体格検査により之れを行ふ

◇入所者決定 四月五日

◇開所並入所 四月十日の予定

◇訓練方針

◇訓練期間 内地一ケ年、現地一ケ年の二ケ年とす。

◇訓練項目 訓練は之れを大別して陸上訓練、海上訓練、学習の三部に分ち、併行的に習得せしむ。科目別にすれば次の如し。

実践道徳大意、経済大意、政治教育大意（南方政治経済地理・南方植民政治史・国際情勢）  
産業知識（農業基礎学大意・漁業水産の大意）  
国史及古典（日本民族海外発展史）  
語学（馬來語）（※マレー語）、気象及航海術の大意、熱

帯衛生医学、南方土俗学大意、体育（武道柔剣道・体操・教練）

◇卒業後の処置 拓南青年幹部として現地の開拓に従事せしむる外、各官公庁、会社の斡旋により夫れぞれ適材を適所に配属せしむ。

その他、特集として以下の各記事が掲載されているので列記する。

拓南協会常務理事 山田毅一「南進日本に万丈の気を吐く 拓南青年訓練所の使命」、「建国の佳節に森厳の地鎮祭」、「沼津市公会堂の披露宴南進の意気高く祝杯をあぐ」、拓南協会副会長 田中善立「世界を富嶽の安きに置く 我れ等の南進訓練所」、沼津市長 名取栄一「南進健児の道場実現は沼津市の光栄」、金岡村会議員 秋直太郎「南方発展の道場建設 誠の道実践の範」、南進社主幹 加藤潔「富士は招く南進青少年 愛鷹訓練所地鎮祭へ」、岳南洞人「持てる生産の山 愛鷹山の開発史」、南海洋人「開国進取の人材巣立つ 岳南の勝地と沼津兵学校跡」



地鎮祭  
（『南進』第6巻3月号より）



地鎮祭出席者  
（『南進』第6巻3月号より）

- |   |      |   |      |
|---|------|---|------|
| 梅原岩吉<br>吉川利雄<br>植松七五三<br>高田坦<br>井原要作<br>飯塚善一<br>内田庫太郎<br>水口實蔵<br>田中善立<br>奥山茂<br>山田毅一<br>河野正義<br>入江竹治<br>粟生五郎<br>中原利一<br>加藤潔<br>内海宮司 | （後列） | 青木昇平<br>飯沼實<br>梅津沼津駅長代理<br>山本廣<br>下山野泰弘<br>佐々木秀四郎<br>清田文永 | （前列） |
|---|------|---|------|

このように開設された拓南訓練所であったが、当時の状況では南方開拓の人材を送り出すことはまだ難しく、運営も経営も困難となり、昭和十七年五月、残っていた約半数の訓練所第一期生を南洋に送り出した後、拓南協会は日本拓殖協会（大東亜省管轄）に経営を移管し「拓南錬成所」と改称した。

その後、同年九月以降、錬成所は立ち直り、以後四年余りの間に一期・二期・三期・四期・五期の若者を南方に送り出した。しかし戦局の悪化に伴い、民間人であった訓練生も戦火に巻き込まれ三〇〇余名が散華した。

戦後、帰還した第一期訓練生の三名が、南方から引き揚げてくる元訓練生を迎え入れる為に奔走し、当時の勝亦干城沼津市長の「訓練所は沼津の生んだ子供である」という協力もあり、錬成所跡地で生活を始めた。これが現在の拓南部落である。昭和四九年（一九七四）三月、散華した霊を慰めるため拓南神社が建立された。

平成27年度新収資料の紹介 昨年度、明治史料館に仲間入りした資料です。

寄贈	保田英幸様 永嶺和年様 滝沢眞加江様 渡辺壽美江様 渡邊貴志子様	電波短信儀送信機真空管4種6本 永嶺源吉関係資料 軍服 旧幕臣渡辺家資料 原渡辺家(本陣)関係資料	購入	『明治戦記徳川義臣伝』・『文久文雅人名録』(間宮富十郎、川上冬崖、都甲権之助(勲)、田辺四友ら収録)・岡本昆石編『NEW ELEMENTARY SPELLING BOOK』・松岡正盛著『改正徴兵令早わかり』・伴徳政編『化学計算及問題詳解』・静岡学問所職員名簿・関川美健著『日本略史字引』
	購入	沼津兵学校関係 松岡正盛著、吉田信孝校閲『漢画独楽譜』・中根香亭校閲『支那史略』・山田昌邦著『西洋形商船航海術独案内』・石川東崖「大日本輿地全図」・「内国勲業博覧会褒賞広告」(審査官片山直人)・真野肇「工手学校講義録」・塚原洪祐『歴史の教訓』・愛知信元編『筆算教授次第 第三答式』・大平俊章出版『NEW LANGUAGE LESSONS ELEMENTARY GRAMMAR AND COMPOSITION』『法律字彙』・開拓使「北海道石狩川図」・村垣素行著『小学筆算例題』・清野勉翻訳『英国兵制論』・平井参編『正則スポンソン氏第三リードル案内』・小川安村著『滋養経済意旨利用法』・『宇野朗追悼録』・『新国劇』五月講演(沼津兵学校台本)・『同方会誌』35、44~53、57・		沼津藩関係 川澄下枝著『読津必携』・『理学初歩』(「菊麻藩学校印」)「明親館蔵書記」蔵書印)・「後代密書 附御代官平林氏添書」(大浜陣屋関係) その他沼津の歴史関係 産業組合駿東郡沼津市部会「駿東郡沼津市産業組合要覧」・「駿州学友会雑誌」第18号・「最新版沼津名所絵はがき」(沼津名勝)市中随一の繁華街本通の一部、(沼津名勝)狩野河畔伝説に名高き蛇松、(沼津名勝)名だたる絶景千本浜の富士、(沼津名勝)翠緑滴る沼津公園の清色・北小林栗林家文書・『桔梗』昭和五年晩春号(林組製系文集)

平成27年度当館収蔵資料の使用 明治史料館の資料がいろいろなところで活躍しました。

☆展示使用

4月~3月	静岡銀行下香貫支店 店内展示 写真31点
5月~6月	本町連合自治会まちづくり研究会「本町まつり」写真48点
7月~8月	中之条町歴史と民俗の博物館企画展「群馬県令楨取素彦と吾妻第三小学校」江原素六宛真野節書簡など(江原素六関係文書)
2月	内浦地区センター 内浦文化祭 絵はがき「三津淡島」など16点
3月	沼津信用金庫本店 ロビー展示 地震展示関係パネル6点

☆刊行物掲載

5月	宝島社『別冊宝島 絵図で読み解く天災の日本史』「田地変じて湖水となる」「小林村変地之図」(「地震之記」より) NPOにぎわい創生船橋駅周辺のまち お散歩まっぷ 写真「江原素六」(江原素六関係文書)	
6月	『織豊城郭』第14号 駿州沼津古城之図(本町間宮家文書)	
7月	天野出版工房 浜悠人『乾坤めぐりて』写真7点 ぬまづ観光ボランティアガイド「蛇松緑道夕暮れウォーク」チラシ 蛇松の図(本町間宮家文書) 中日新聞・東京新聞沼津市局 沼津空襲70周年特集 写真「沼津空襲の惨状」3点(旧幕臣大野家資料) 朝日新聞静岡県版 沼津空襲70周年特集 写真4点「沼津空襲の惨状」(旧幕臣大野家資料) NHK出版 NHKテキスト「ラジオまいにちロシア語」9月号 プチャーチンの絵(「地震之記」より)	
	8月	毎日新聞社静岡支局「語り継ぐ静岡戦後70年」写真「沼津空襲の惨状」1点
	9月	新潮社 中野翠著「いちまき」写真「吉見精」・「沼津兵学校」映画チラシ
	1月	横須賀開国史研究会『開国史研究』第16号 講演録「横須賀造船所再考」写真「幕府オランダ留学生」 愛知県県史編さん室『愛知県史 資料編23 近世9 維新』「石川台嶺供述書写」(旧沼津藩土杉浦家資料)
2月	文眞堂『企業家活動でたどる日本のサステイナブル経営史』写真「江原素六」(江原素六関係文書) 沼津市社会福祉協議会『第4次地域福祉活動計画』肖像画「江原素六」(江原素六関係文書)	
3月	静岡新聞社 電子書籍『轍』「大陸の花嫁」編 「大陸の花嫁募集ポスター」	

☆テレビ等映像・その他

6月	静岡あさひテレビ「とびっきり!しずおか」内「ジモテン」写真8点
7月~9月	流れ館沼津魚がし館沼津店 スライドショー 写真100点
8月	沼津駿河ライオンズクラブ「すばらしき街・沼津」沼津城絵図・沼津略画図・沼津北半之図・駿河国駿東郡沼津町略図 NHK静岡放送局ホームページ 戦後70年~平和へのメッセージ 写真「沼津空襲の惨状」など6点
9月	スクエア・ノット BS朝日「百年名家」絵はがき「沼津町停車場」・「駿河国沼津町略図」・写真「沼津大空襲の惨状」
10月	NUPURI FILMS 沼津市のPR動画 浮世絵「東海道五十三次」・写真「自転車に乗る洋装男性」
11月	中部地域づくり協会地域づくり技術研究所ホームページ「中部災害アーカイブ 地震・大津波の痕跡、教訓から学ぶ」「田地変じて湖水となる」「小林村変地之図」(「地震之記」より)
1月	日本テレビ「ヒルナンデス!」内「東海道レッツ五十三次」 「沼津略画図」
2月	テレビ朝日「マツコ&有吉の怒り新党」内「新3大 現代にも通用する幕末のイケメン偉人」 写真「水野忠敬」
3月	日本テレビ「ヒルナンデス!」内「東海道レッツ五十三次」 絵はがき「沼津公園千本浜」など3点

沼津市明治史料館通信

第125号

平成28年4月25日

編集・発行 沼津市明治史料館  
〒410-0051 沼津市西熊堂372-1  
TEL055-923-3335  
FAX055-925-3018

印刷  
みどり美術印刷株式会社



今年もやります そろくまつり

平成28年5月15日(日) 10時~13時

夏のイベント 盛りだくさん!

戦時中のくらしを体験しよう 8月3日(水)  
平和を考える戦争史跡めぐり 8月5日(金)、7日(日)  
高校生のための1日学芸員体験講座 8月4日(木) など  
\*詳しいことはHP・広報などでお知らせします。

おたのしみに!